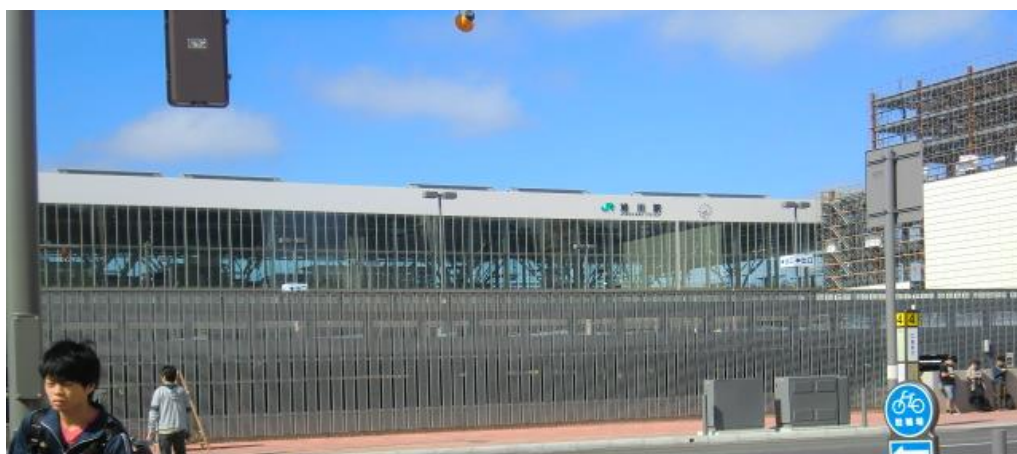


## 第5節 4日目：6月24日（火）晴れ

本日も昨日に引き続き、ホテルロビーで朝食を摂り、深川から旭川までの 30.2 km を歩くことにする。8 時 8 分の電車で深川まで移動する。パスモは岩見沢からは使えるが、深川＝旭川間は使用できないことで、640 円の乗車券を購入する。赤い岩見沢行の電車であった。窓から、深川までの風景を観察する。本日も、深川と旭川の間にある駅は、納内駅（おさむない）、伊納駅（いのう）、近文駅（ちかぶみ）があった。納内駅と近文駅はクリアできそうであったが、伊納駅はトンネルとトンネルの間にあり、また川が絡み、クリアするのに相当レベルの高さを感じた。色々考えているうちに深川駅に到着。



旭川駅



沢山の高校生がこの駅で降りる。同時に別の高校生が乗車して来る。深川駅前を色々なアングルからデジカメに収め、8 時 40 分、旭川を目指しウォーキングとなる。駅前通りの蓬萊町線（8 時 54 分）を歩く。8 時 18 分、この路は行き止まりとなる。道道 57 号線（旭川深川線）に出る。9 時 24 分、深川市 3 条 26 番という地名を通過。9 時 28 分、80 歩ある

深穰橋（堺川）を渡る。その先に旭川 27 km、神居古潭 12 km 道路標識があった。9 時 51 分、88 歩ある入志別橋（入志別川）を渡る。10 時 7 分、49 歩ある山田橋（トクボク川）を渡る。10 時 21 分、55 歩ある村界橋（そんかい：吉野川）を渡る。10 時 50 分、開拓記念公園前を通過。「北緯 43°、東経 142°、標高 67m」の標識があった。加えて、屯田の鐘もあった。記念にこの鐘を鳴らす。納内駅（おさむない）への標識があった。納内駅には 11 時 1 分到着。



深川駅



入志別橋

山田橋

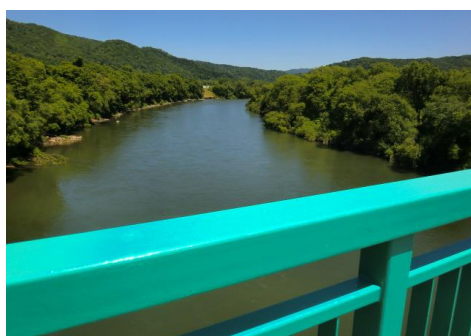


開拓記念公園前

納内駅

15～16 名位の保育園児童の姿があった。3 人位の先生が誘導していた。11 時 16 分、62 歩ある常盤橋（納内幌内川）を渡る。この橋でモンシロチョウの大群に直面する。11 時 32 分、16 歩ある豊納橋で雀の群れと対面する。11 時 51 分、高速道路下に空知中央バス停（納内 6 丁目）があった。12 時 2 分、21 歩ある灌漑溝橋（かんがいこう）でサイクリングコースがあった。このサイクリングを歩こうとも考えたが、リスクが高いため断念する。12 時 5 分、396 歩ある空色の神納橋（石狩川）を渡る。以下、左手に石狩川を見ながらの歩きとなる。12 時 26 分、国道 12 号線に合流する。左手に北見 174 km、旭川市街 17 km の標識が、

一方、右手には札幌。滝川の標識であった。ここから、人里が全くない山道を歩く。12時38分、札幌から120km地点に達する。12時41分、341歩ある神居古潭大橋を渡る。12時46分、422mの神居古潭トンネル(768歩)を通過する。12時58分、夢殿観世音菩薩があった。13時6分、旭川14.5kmの看板を目にする。1,972歩ある岩見大橋を通過する。左手には石狩川が続いていた。



石狩川



国道12号線に合流



神居古潭トンネル

13時18分、石狩川を越えた先に歩道が見える。13時31分、旭川まで13kmの地点に達する。13時34分、春志内橋の近郊で札幌123kmの地点に達する。13時40分、神竜土地改良区に達する。ここから専用の歩道・サイクリングロードがあったが、国道12号線を歩く。北見170km、旭川13kmであった。行っても行っても橋と山道が続く。13時52分、63歩ある盤水橋を渡る。13時55分、334歩あるトンネル(ニッネカムイ覆道?)を通過する。14時1分から27分要し、1,805mある春志内トンネル(3,216歩)を通過する。27分のトンネルとは実に長いものである。Ipodは全く聞こえないし、行っても行っても暗闇の世界であった。14時30分、183歩ある神光橋を渡る。94歩ある観魚橋を渡る。15時13分、歩道・自転車は終わる。15時19分、旭川市台場という地名に達する。15時16分、札幌から129km地点に達する。15時17分、山道は終わり、自転車に乗った通行人と対面する。前方には民家が見えてくる。15時18分、旭川市台場に到着する。15時20分、97歩ある伊野川橋が渡る。15時28分、春日青少年の家看板前を通過。



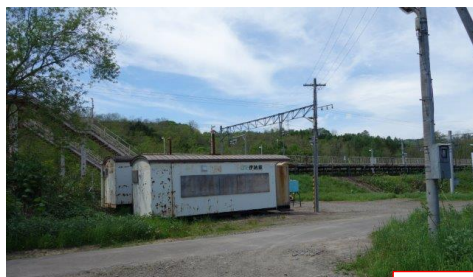


旭川まで 13 km地点 春志内トンネル



春日青少年の家看板

忠神橋



未踏破の伊納駅



近文大橋

16時、860mある旭川トンネル（1,524歩）を通過する。16時15分、道道132号線に出る。16時30分、84歩ある忠神橋通過。右手に雪化粧の大雪山が見えて来る。16時37分、近文大橋（石狩川）を通過する。16時45分、JR線を横切り鉄道の左側に出る。旭川の市街を通り、17時21分、〇〇居酒屋を右折した先に近文駅があった。ここで非常に残念であ

るが、伊納駅（いのう）の未踏破が確定する。17時30分、富良野61km、旭川空港20km、旭川4kmの道路標識前を通過。17時35分、旭川市立近文小学校前を通過。この小学校前には近文（ちかぶみ）に関するアイヌ語の注釈があった。「Cikap-un-i」で「鳥のいる所」とあった。17時54分、451歩ある旭西橋（きょくせい：石狩川）を通過する。18時12分、遠軽信金前を通過。18時17分、旭川市立新町小学校前を通過。18時45分、駅前広場が工事中の旭川駅に到着する。18時58分、ホテルの部屋（607号室）に到着する。ホテルのロビーでとても美味しいポークカレーをいただく。私より若干年上の真山さんの味は最高であった。明日も是非食べたい。この夜のサービスは6月までの火・水・木の19時から20時まで。このロビーで私と同じ年の齋藤さん（札幌から出張）という方と知り合いとなる。本日の営業キロは30.2km、万歩計は55,040歩であった。



近文駅      近文の由来



旭川トヨタ      旭川駅

## 第6節 5日目：6月25日（水） 快晴

本日は予備日であるが、和寒から旭川までの36.3kmに挑戦する。4時起床。朝は昨夜コンビニで買った菓子パン・おにぎりを食べ、ホテルを5時25分頃出る。5番ホームに停車の6時5分発の電車で和寒駅（6時56分着）に向かうことにする。車両は非電化の1両編成のワンマンカーであった。6月下旬にも関わらず、車内は暖房が施されていた。車窓から和寒までの風景を観察しながらの移動となる。蘭留から塩狩まで山間が続くが、後は平原で歩きやすそうなコースであった。6時56分、和寒駅前を種々のアングルでデジカメに収め、旭川駅を目指すこととする。この駅で沢山の中学生在が乗車して来る。7時、駅前の道路地図から次の塩狩駅までの大体の位置を頭に入れる。



旭川駅



和寒駅

7時2分、国道40号線を歩く。7時6分、旭川37km、比布21kmの道路標識前を通過。7時23分、和寒町三笠を通過。7時29分、天塩大地という店の看板を目にする。7時45分、藤橋を横切る。その先に「三笠自然公園／こどもの国」の看板があった。7時53分、旭川35km、比布19kmの道路標識あり。



三笠 旭川・比布標識

7時55分、この先で塩狩峠という案内板を目にする。8時11分、道北バス22線名寄方面のバス停あり。8時38分、牧場に放し飼いにした2頭の子馬の姿があった。8時40分、塩狩という地名と対面。工事をしている方に塩狩駅を尋ねる。3人のうち最後のの人に、はっきりとした回答をいただく。この人は鉄道に詳しいとのことであった。それ故、塩狩駅への道筋を分かりやすく教えて頂く。8時58分、まもなく道路に沿って鉄道が見えてくる。9時3分、塩狩駅の案内板が目に入る。9時7分、国道40号線からを離れ、一般道に入る。



案内があるが駅への道筋は難しかった。9時11分、やっと本日の最初の塩狩駅に到着する。宗谷本線ではじめて踏破した駅で、しかも踏破に難しいような駅であったので達成感に浸ることができた。



牧場



塩狩駅への案内板



塩狩駅



塩狩峠



塩狩峠一目千本桜日標識

少し戻った先に塩狩峠の記念碑があった。国道40号線に戻る。9時21分、旭川から30km地点に到達する。9時26分、「塩狩峠一目千本桜／自然の恵み野／わっさむ町／See you again」の道路標識を見る。9時28分、深川61km、旭川30km、比布市街14kmの道路標識を通過する。9時35分、北北海道の地図がある塩狩パーク前を通過。9時55分、旭川28km地点を通過。北海道らしい緑のじゅうたんを歩く。10時26分、鶏のマークの養鶏場があった。この施設は主として、卵の出荷を目的としているようであった。10時30分、左手に上りの電車が通過して行く。その先に、道北バス停北11線があった。10時37分、高速道路を潜り、同時にJRを渡る複雑な地点を通過する。JR線の左側を歩く。



塩狩パーク 道北ドライブマップ

10時45分、深川56km、旭川25km、比布（びっぷ）市街9kmの道路標識の前を通過。10時58分、洒落た名称の蘭留駅（らんる）に到着する。この駅は、平成12年5月のウォーキング開始以来、営業キロ7,500km踏破駅となったので生涯忘れることのできない駅になる。そこで一句。

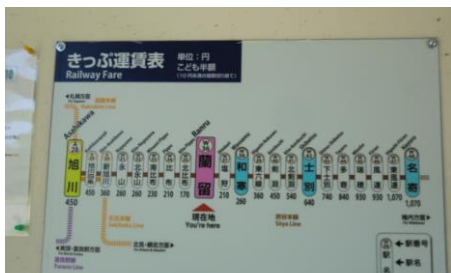
「夢日記 緑の大地 今蘭留」

駅前には、蘭留簡易郵便局や旭川中央警察署蘭留駐在所があった。



養鶏場 蘭留駅

11時10分、旭川24kmの地点に達する。その前方には高速道路（100m位先）が見えて来る。11時21分、36歩ある蘭留小橋（比布川）を渡る。11時26分、旭川23km、比布市街7kmの地点に達する。この辺りから、鉄道は非電化のため緑の大地の草に遮られ線路は全く見えず。試行錯誤しながら、やっと12時14分北比布駅に到着する。



蘭留駅からのアクセス 北比布駅



駅舎は犬小屋のように粗末な駅舎であった。道なりに歩いた先の踏切を渡るや否や迷う。線路には信号機が下りていた。暫くして上り列車(1両編成)が通過して行く。この踏切は横切らず、鉄道の右側を歩く。12時45分、鉄道を横切り、鉄道に沿った左側を歩く。12時55分、右手に下り列車(2両編成)が通過して行く。13時2分、自転車道は終了。13時12分、グリーン屋根とピンクの壁の駅舎の比布駅に到着する。この駅は、昨日旭川東横インで知り合った齋藤さんという方から、「ピップエレキバン」で有名な駅とお伺いする。



鉄道を横切りそのまま歩道を歩く



比布駅



比布駅前 紙風船

13時25分から13時42分、日差しを遮るため、雨傘をさすが、強風のためしまう。13時51分、20歩の宇津別橋を渡る。14時4分、「紙風船」という洒落たレストランで冷やし担々麺(860円)を頂く。セットとしてUCCコーヒーがついていた。ケーキやアイス等もあり、結構賑わっていた。この駅で、南比布駅を尋ねる。「少し行った先の橋の下にあります」

とのことであった。14時36分、南比布駅に到着。この駅舎も北比布駅と同様犬小屋のような粗末な駅舎であった。この駅は国道40号線下の階段で3～4m位降りたところにあった。国道40号線に戻る。14時51分、前方にトンネルが見える。しかし、このトンネルを潜らず、手前の路を歩く。直ぐ先に赤橋があった。15時6分、クマラゲ橋(86歩)を渡る。川に沿って層雲峡という森が続いていた。依然鉄道は見えない。ここから、1時間位右往左往する。15時30分、国道40号線に戻る。依然、鉄道は見えない。



南比布駅

15時32分、旭川市街まで11kmの看板を見る。この近郊の道路標識で国道40号線を直進しても北永山駅や永山駅を行けないこと知る。それ故、森に沿った道筋に戻る。15時55分、偶然にも民家の庭先におられる方がいたので、北永山駅を尋ねる。「北永山駅はわからないが、永山駅は石狩川を渡った先にあったような気がする。遠いですよ。国道40号線を真っ直ぐ行った先で橋を渡る方法と少し戻って渡る方法がある。でも、戻った方が近いような気がします」と教示頂く。それ故、ジョギングで30分位前に通過した地点まで戻る。1kmの四角形のリカバリーであった。16時2分、560歩ある東永橋(とうえい：石狩川)を横切る。16時18分、永山町15丁目踏切を横切り鉄道の左側に出る。やっと線路見つけ安堵する。国道39号線に出る。16時26分、やっと北永山駅に到着する。



石狩川

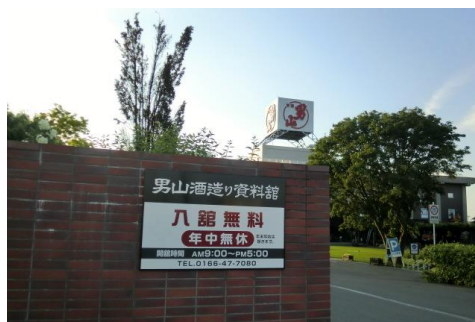


北永山駅



旭川市立永山東小学校 永山駅

それにしても南比布駅から北永山駅まで非常に醍醐味ある道筋であった。16時32分、道北バスの施設があった。16時38分、永山新川（牛朱別大橋）を渡る。16時45分、旭川市立永山東小学校前を通過。17時7分、永山駅に到着する。17時35分、旭川7kmの道路標識前を。17時52分、男山株式会社前を通過。オレンジの「清酒男山」の旗が揺らいでいた。



男山酒造り資料館

18時12分、新旭川こせん橋を渡る。下にはJR線が走っていた。この路は国道39号線から右折した道路で「花咲通」とあった。18時39分、新旭川駅に到着。この駅の手前で昨日知り合った齋藤さん（俳優の船越栄二さんに似た感じ）からTELあり。18時46分、中島街道踏切を横切り、国道39号線に戻る。18時52分、314歩ある境橋（牛朱別川）を渡る。

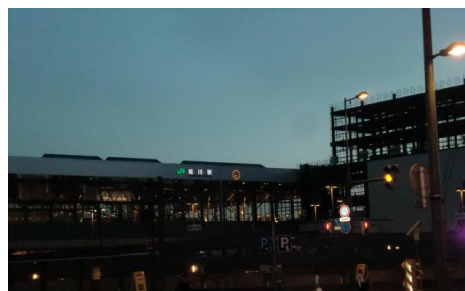
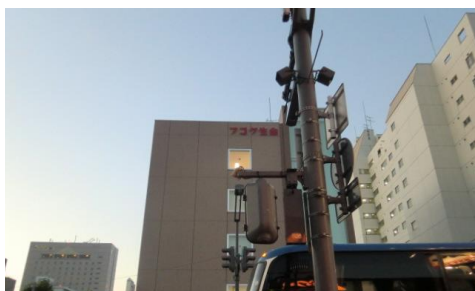


19時11分。旭川四条駅に到着。国道39号線に面してあった。19時28分、4階建のフコク生命があった。本日の温度は25℃とあった。旭川駅には19時38分到着。19時42分、ホテルに到着し、美味しいカレーを頂く。その後、ロビーでビール等にて昨日知り合った齋藤さんと1時間近く懇談する。本日の営業キロは36.3km、万歩計は74,282歩であった。本日は北海道という大地を知る有意義な一日であった。



新旭川駅

旭川四条駅



フコク生命旭川支社

旭川駅

## 第7節 6日目：6月26日（木）快晴

本日も4時起床し、準備をする。朝食は昨日頂戴したエビピザを少し食べ、本日の段取りを練る。本日は、日本一長い直線道路29.2kmの歩きがある。5時半頃、齋藤さんが見送りに来て頂く。昨日頂いた分の残りをお渡しする。5時43分、ホテルをチェックアウトする。旭川6時25分発の岩見沢行の電車で滝川（7時10分着）を目指す。運賃は1,070円要する。車両は3両編成であった。6時の特急電車が。次に昨日乗車した6時5分発の稚内行が。電車の窓から旭川から滝川までを振り返る。6月24日未踏破となった伊納駅がトンネルとトンネルの間に登場する。窓越しから伊納駅をデジカメに収めようとしたが上手く収められず。7時17分、滝川駅を色んなアングルからデジカメに収め砂川駅を目指す。沢山の高校生が、滝川駅で下車する。7時21分、学生は自転車置き場に一齐に向かっていた。そして一齐に駐輪場から自転車で通学する風景に出くわす。少し異様な気がした。電車のダイヤが1時間に1本位しかない故、ひとつのダイヤに集中するのであろう。